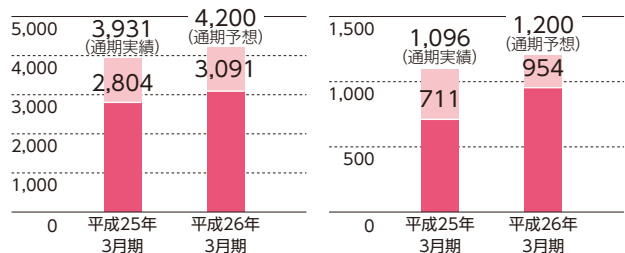
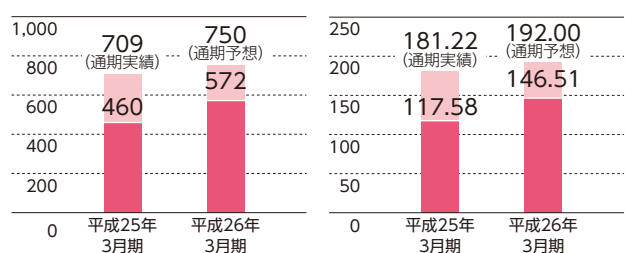


第3四半期業績ハイライト

売上高 (10.2%増) 経常利益 (34.0%増)
(単位:百万円)



四半期純利益 (24.2%増) 1株当たり四半期純利益 (24.6%増)
(単位:百万円) (単位:円)



- ・既存事業が堅調に推移したことに加え新規事業の「運用BPO事業」が順調に立ち上がり、前年同期比、増収増益。

IRニュース

株価推移



- ・平成25年4月1日から同年12月31日までに、株価は49%上昇
- ・平成25年4月と同年12月の月間出来高を比較すると、約2倍に。同じく、月末時点時価総額は24%増加

BSPニュース

上場中堅企業ランキング「NEXT50」にランクイン！

平成25年12月3日付の日経産業新聞に掲載された「NEXT50上場中堅企業ランキング」において、当社が40位にランクインしました。

「NEXT50上場中堅企業ランキング」とは、上場企業のうち売上高500億円以下の中堅企業を対象に、日経産業新聞と日本経済新聞デジタルメディアが、①売上高営業利益率、②自己資本比率、③営業利益増減率、④使用総資本回転率の4指標を使い、企業の市場競争力を算出したランキングです。

NEXT50上場中堅企業ランキング			
順位	企業名	総合スコア	事業概要
1	東亜細亜	94.7	施設用照明大手、LED照明に強み
2	ニューフレアテクノロジ	716	半導体製造装置、マスク撮面装置で世界トップ
3	日本管理センター	693	賃貸業住宅の転賃、オーナーに家賃保証制度
4	リブセンス	693	成功報酬型の求人情報サイト
5	クックパッド	681	料理レシピ投稿・検索サイト
6	アイレップ	640	検索連動型広告
7	カカコム	647	価格比較サイト大手
8	日本M&Aセンター	642	中小企業向けのM&A仲介
9	ビーエスシー	641	医療用汎用ファイルシステム
40	アイ・アールジャパン	574	株主対必要務大手
38	マルカキカイ	574	中堅機械会社
38	センチュリー21・ジャパン	572	不動産仲介チェーン
39	K G情報	570	求人やクーポン誌発行
40	ビーエスビー	569	基幹業務システム向けの運用ソフト
41	モーニングスター	566	投資商品評価
42	ボルテージ	565	携帯コンテンツ、女性向け恋愛ゲームや電子書籍
	インターナショナル	555	成金相場取引の配信

平成25年12月3日 日経産業新聞 3面

IRカレンダー

5月 8日(木):平成26年3月期決算発表
6月18日(水):第32期定時株主総会(予定)
於:大手町サンケイプラザ

会社概要 (平成25年12月31日現在)

商号 株式会社ビーエスピー
設立 昭和57年5月
上場 東京証券取引所 JASDAQ市場(証券コード:3800)
資本金 13億3,000万円
従業員数 212名(連結)
所在地 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟
ホームページ <http://www.bsp.jp/>
お問い合わせ 広報IR室 TEL:03-5463-6384

平成26年3月期 第3四半期 決算レポート

平成25年4月1日～平成25年12月31日



株式会社ビーエスピー

証券コード:3800



- 株主の皆さまへ
- ビーコンITの子会社化について



- 第3四半期業績ハイライト
- BSPニュース「NEXT50」にランクイン！



代表取締役
社長執行役員
竹藤 浩樹

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、先般、2月6日に平成26年3月期第3四半期決算を発表いたしましたので、概要をご報告申し上げます。

第3四半期連結決算の概要

第3四半期の成果としては、第2四半期に引き続き、お客さまからのリピートオーダーや災害対策要件での案件取り込みができたこと、システム更新などの大型案件の獲得により、既存事業が堅調に推移しました。下期より本格的に立ち上げたITシステムの運用代行サービスである「運用BPOサービス」事業は、ITリソース再配置のお客さまのニーズとも合致し、順調な立ち上がりとなっています。

当社グループの当第3四半期における売上高は、30億91百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益は9億6百万円(同34.9%増)、経常利益は9億54百万円(同34.0%増)、四半期純利益は5億72百万円(同24.2%増)、1株当たり四半期純利益は146円51銭(前年同期は117円58銭)となりました。

事業別の取り組みと業績の状況

【プロダクト事業】

プロダクト事業の売上は、11億31百万円(前年同期比20.2%増)、営業損失は3億63百万円(前年同期は4億37百万円の損失)となりました。

プロダクト事業全体の売上では、お客さまの設備投資回復基調を背景に、既存および新規のお客さまから大型案件を受注したことやITサービスマネジメント分野が好調であったことから、製品売上および技術支援サービス売上、保守サービス売上ともに前年同期比で増加しました。

また、海外売上においては、中国で幅広い販売網を持つ株式会社ビーコン インフォメーション テクノロジーとの上海での拠点統合効果により、製品販売が増加しました。

【メインフレーム事業】

メインフレーム事業の売上は、17億95百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は13億14百万円(同7.0%増)となりました。

金融業界や生損保業界でのシステム統合や増強の傾向は続いているものの、製造業や流通業でのダウンサイジング投資が増加するなど、システム基盤が二極化する傾向にあります。このような中、当社はメインフレーム環境およびオープン環境双方にわたるITシステム運用のノウハウを活かし、お客様の環境に応じた改善提案を実施しています。

製品売上は、お客さまのシステム更改時期に合わせた営業活動や計画的な契約締結活動を徹底した結果、堅調に推移しました。技術支援サービスおよび保守サービス売上は、災害対策によるバックアップ構築案件の増加により、オープン化やダウンサイジング化の潮流を見込んだ期初計画の減少率を下回ることができました。

【ソリューション事業】

ソリューション事業の売上は、1億18百万円(前年同期比7.4%減)、営業利益は3百万円(同58.4%増)となりました。

金融業や製造業を中心に、事業拡大に向けた人材育成のニーズが高まっており、採用および教育投資が活発化しています。この機会を活かし、人材育成サービスを積極的に提案してまいります。

【運用BPO事業】(当第3四半期からの新セグメント)

運用BPO事業の売上は、46百万円、営業損失は7百万円となりました。

平成25年10月より同事業を本格始動し、専任組織のベテラン技術者のスキルやノウハウを活かし、お客さまへの改善提案を実施した結果、システム移行案件やサービスデスク構築案件を受注するなど、サービス開始以降、順調な立ち上がりとなっています。

なお、現時点では、当社連結業績は期初計画に沿って進捗していることから、連結業績予想に変更はありません。

ビーコンITの子会社化について

当社は、株式会社ビーコン インフォメーション テクノロジー(以下、ビーコンIT)を連結子会社化しました。(平成26年1月24日株式譲受完了、議決権所有比率53.55%)

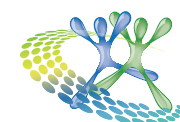
今回の資本政策は、変化の速い事業環境下、両社が有する経営資源の融合と活用を通じ、グループ経営の機動性を高め、協働して事業優位性を創り上げることを目的としています。

これにより、当社グループは、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、グローバル市場等、新たな事業領域における製品およびサービスの拡充を図り、これまで以上にお客さまのITシステムの変革を支援するビジネスの強化を目指してまいります。

ビーコンITの会社概要

設立: 昭和51年8月
資本金: 8億9百万円
売上高: 30億80百万円
経常利益: 21百万円
(平成25年3月期連結)

当社とビーコンITの融合を表すシンボルマーク



Empower Your Business

BeaconIT



BSPグループ体制

